

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について

1 調査の概要

(1) 調査実施日 令和4年4月19日(火)

(2) 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(3) 調査の対象

小学校第6学年及び中学校第3学年

(4) 調査の内容

ア 教課に関する調査

小学校(国語・算数・理科)

中学校(国語・数学・理科)

イ 質問紙調査

児童生徒に対する調査

学校に対する調査

(5) 調査の方式

悉皆調査(全員を対象とした調査)

(6) 本市の参加状況

ア 小学校6校 約270人

イ 中学校3校 約270人

2 結果の概要

■教科に関する調査結果

小学校においては、国語と理科は全国平均をやや上回り、算数は全国平均を下回っています。

中学校においては、国語と理科は全国平均とほぼ同じ状況であり、数学は全国平均を下回っています。

■質問紙調査結果

児童生徒質問紙では、「地域の行事に参加している」、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」、「学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている」等と回答した割合が、全国平均を上回っています。

しかし、「自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表した」、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ」等と回答した割合は、全国平均を下回っています。

学校質問紙では、「授業において、児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れた」等と回答した割合が、全国平均を上回っています。

3 教科に関する調査の結果

学年		小学校 6 年生		
教科		国語	算数	理科
R 4	本市	66%	62%	65%
	県	65%	62%	63%
	全国	65.6%	63.2%	63.3%
R 3	本市	65	70	60% (H30 結果)
	県	66%	70%	62% (H30 結果)
	全国	64.7%	70.2%	60.3% (H30 結果)

学年		中学校 3 年生		
教科		国語	数学	理科
R 4	本市	69%	50%	49%
	県	68%	49%	49%
	全国	69.0%	51.4%	49.3%
R 3	本市	59%	53%	66% (H30 結果)
	県	64%	55%	66% (H30 結果)
	全国	64.6%	57.2%	66.1% (H30 結果)

4 質問紙調査に関する調査の主な結果 ※ () は全国比

		小学校			中学校		
		本市	県	全国	本市	県	全国
児童生徒	今住んでいる地域の行事に参加していますか(「当てはまる」+「どちらかといえば、当てはまる」の割合)	69.3% (+16.6)	55.3%	52.7%	49.8% (+9.8)	40.7%	40.0%
	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか(「当てはまる」+「どちらかといえば、当てはまる」の割合)	62.9% (+11.6)	52.1%	51.3%	45.0% (+4.3)	42.5%	40.7%
	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか(「当てはまる」+「どちらかといえば、当てはまる」の割合)	84.4% (+10.9)	74.0%	73.5%	87.4% (+10.6)	77.3%	76.8%
	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか(「当てはまる」+「どちらかといえば、当てはまる」の割合)	93.0% (+5.9)	88.2%	87.1%	93.3% (+6.7)	88.4%	86.6%
	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)(「よくしている」+「ときどきしている」の割合)	81.5% (+10.4)	69.3%	71.1%	60.1 (+1.6)	54.7%	58.5%
	5年生までに(1、2年生のときに)受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか(「当てはまる」+「どちらかといえば、当てはまる」の割合)	76.7% (-0.6)	74.7%	77.3%	70.1% (-9.1)	73.0%	79.2%